

令和5年度 学校経営方針

荒川区立第九峡田小学校

校長 岩崎 昇

1 学校経営の基本方針

- (1) 「子どもはダイヤモンド」と信じ抜く
 - ・子どもは本質的な善性を有し、自ら伸びようとしている存在だと信じ抜く
- (2) 教育は「共育」「協育」
 - ・共育・・・子どもと共に教師も成長しなければならない（個人の成長のための具体的な目標設定）
 - ・協育・・・学校と家庭が同じ方向を向き共に協力して児童を育成する
- (3) 判断基準は、子どもにとって何が最善か
 - ・すべての教育活動は、児童にとって何が最善かを判断基準とする

2 目指す学校

- (1) 子どもを預けて安心できる学校
 - ・児童を事故、けがなく帰宅させることが最優先
 - ・危機管理意識の高い教職員
 - ・報告、連絡、相談体制の徹底
- (2) 児童一人一人が自己有用感を感じる学校（通いたい、楽しいと感じる学校）
- (3) 児童とともに伸びゆく教職員のいる学校
 - ・児童にとっての最大の教育環境は教師自身である
 - ・三者から信頼される教師として ①児童から ②教職員から ③保護者から
- (4) 家庭、地域と共に伸びゆく学校（学校と家庭、地域との相互理解の上に成り立つ教育活動）
コミュニティースクールモデル校としての地域との連携の活性化
避難拠点としての防災訓練の再開

3 中期的な目標

- (1) わかる・できる授業の実践と学力の向上
- (2) 一人ひとりの豊かな心の育成
- (3) チーム九峡としての教職員の団結、児童の愛校心の向上
- (4) 保護者・地域との連携による児童の育成と信頼関係の構築

4 今年度の具体的な目標と方策

	目標	方策
学 習 指 導	1 学習規律の確立とインクルーシブの視点に立った、教室環境	① 基本的な話す、聞く姿勢を徹底する等、学習規律を確立させる。特別支援を配慮した教室環境の整備。
	2 思考力・表現力の育成	② 毎時間ごとに必ず熟考の時間を設定させる
	3 学校図書館を活用した学習活動の充実	③ ・小論文コンテスト、図書館を使った調べる学習、読書感想文への積極的な取り組みによる言語能力の育成 ・各教科、領域を通しての学校図書館を活用した授業づくり ・読書バッジの活用
	4 ICTの活発な活用・プログラミング教育の確実な実施	・4階読書スペースの活用・充実
	5 放課後学習の充実	④ デジタルコンテンツを活用した自学自習の習慣化を向上させる。校内研究で向上させたプログラミング教育の実施 ⑤ ・下位層の児童を対象とした基礎学力の定着

	<p>6 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善</p> <p>7 言語能力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全児童を対象とした自学自習の習慣化の育成 ⑥ 対話場면을積極的に設定した授業づくり ・話を聞く姿勢の向上（話し手を確認に見させる） ⑦ 漢字検定全児童受検と俳句学習を通して、語彙を増加させ言語能力の向上を図る。特に、俳句学習については、本校の特色ある教育活動として、地域に向けて発信していく
生活指導	<p>1 豊かな心の育成</p> <p>2 いじめ「0」、暴力「0」</p> <p>3 児童理解</p> <p>4 問題行動の未然 防止と早期発見、早期対応</p> <p>5 時間を守る児童の育成</p>	<p>① 基本的な生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の徹底「あいさつは オアシスさ」・忘れ物「0」 <p>② いじめ、暴力は断じて許さないという校風の確立のための学級、学校全体での指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別の教科 道徳の確実な実施と充実 <p>③ 生活指導夕会における情報の共有化 管理職とSCによる全児童の面接</p> <p>④ 関係諸機関との連携、特に学童、にこすくとの連携、SC、SSWとの連携</p> <p>⑤ 授業の開始と終了時刻を徹底する (チャイムとともに開始し、チャイムとともに終了する)</p>
学校運営	<p>1 特別支援コーディネーターを中心とした特別支援体制の確立</p> <p>2 ブロック体制の実施</p> <p>3 会議の時間短縮</p> <p>4 花の木幼稚園との積極的な交流</p> <p>5 校務改善</p>	<p>① 特別支援教育校内委員会の定期的な開催と必要に応じた臨時開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員、補助員の効果的な活用 <p>② 低、中、高学年ブロック会の定期開催</p> <p>③ 会議内容の精選と校務支援システムの活用により時間短縮を図り、児童との時間、学級事務等にあてる時間の増加。スクリレの充実した活用</p> <p>④ 低学年を中心とした交流活動の実施</p> <p>⑤ スクールサポートスタッフの効果的な活用</p>
特別活動・その他	<p>1 学校2020レガシーの実施(外部指導者等)</p> <p>2 花いっぱい運動の活性化</p> <p>3 自己有用感の持てる学級づくり、学校づくり</p> <p>4 異学年交流の充実</p> <p>5 教育環境の整備</p> <p>6 報告・連絡・相談の徹底</p> <p>7 保護者対応の改善</p>	<p>① 障害者理解…技師装具サポートセンターとの連携 スポーツ志向…陸上運動指導、水泳指導 日本人としての自覚と誇り…伝統文化理解教育 豊かな国際感覚…TGGによる体験学習</p> <p>② 学校・保護者・地域、三者の協働体制を充実させ、学校の特色ある教育活動として継続する</p> <p>③ 学級活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級目標の作成と活用 ・学級会の月1～2回以上の実施による自治的な学級づくり ・係活動と当番活動の明確な区別による充実した学級風土づくり ・児童会活動の充実と、自主自立した委員会、クラブ活動 <p>④ なかよし班の充実、活性化</p> <p>⑤ 芝生化した校庭の整備(全児童の関わり)</p> <p>⑥ 小さなことまで報告する習慣作り (特に事故、けがは確実に)</p> <p>⑦ 適切な初期対応。迅速に、丁寧に、確実に</p>
能力開発	<p>1 学習指導要領実施に向けた研修の実施</p> <p>2 荒教研への積極的な参加</p>	<p>① 職員会議等でのミニ研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的、対話的で深い学びに向けての授業改善 <p>② 事前研等への参加</p>